

8 大学連携まちづくり ワークショップまとめ

平成 26 年 3 月

新潟市地域・魅力創造部 政策調整課

概 要

1 目的

将来のまちづくりに対する学生の皆様のご意見や想いを、次期総合計画に活かしていくため、「※8大学連携事業」の取組みの一環として、まちづくりワークショップを実施しました。

※8大学連携事業とは。

新潟大学、新潟薬科大学、新潟国際情報大学、新潟青陵大学、新潟医療福祉大学、日本歯科大学新潟生命歯学部、敬和学園大学、新潟県立大学が組織している「大学連携新潟協議会」と本市が大学の英知をより一層市の施策に活用するとともに、大学の地域貢献を進め、市民満足度を向上させるため、相互に連携して行う取組み。

2 実施日

平成26年1月11日（土）

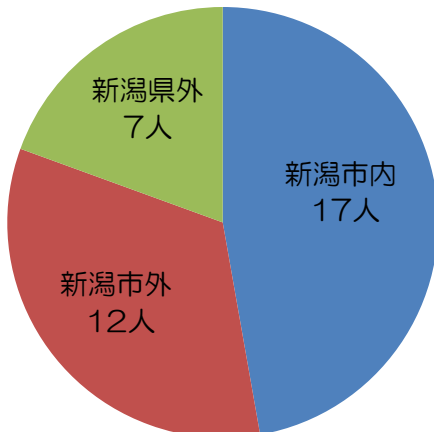
3 対象者

8大学の学生

4 対象者数

午前の部 36名、午後の部 36名

*対象者の出身地



【午前の部】 2020年。あなたは新潟市がどんなまちになっていたら良いと思いますか。

※注釈：学生から寄せられた意見（記述）を抜粋し、幾つかの「カテゴリー」にグループ化したもの。

<p>《魅力づくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区ごとの特色を伸ばすまち ○「マンガ・アニメのまち」として有名なまち ○学生の活気があふれ、文化・芸術・スポーツにおいて充実したまち ○「おいしい新潟」「きれいな新潟」「楽しい新潟」自慢できるまち 	<p>《田園文化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○田園と都市を共生的に発展させたまち ○文化資源を発掘するまち ○地域の資源を活かした地元色の強いまち
<p>《住みやすさ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若い人もお年寄りもイキイキ暮らせるまち ○新潟に帰りたと思うまち ○大人も子供も住みやすく、活気あふれるまち ○誰もが安心して暮らせ、楽しいまち 	<p>《交流》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人と人との交流が盛んな人の温もりが感じられるまち ○人と人の「つながり」が見えるまち ○子どもから高齢者まで全ての人が住みやすく交流がもてるまち
<p>《就職・雇用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽しく働ける会社がたくさんあって、新潟らしさ（脱東京）が輝くまち ○公共交通が整っていて、人と企業が入ってきやすいまち ○新潟市の魅力をグローバルな視点で発信し、若者の企業マインドを育成するまち 	<p>《まちなか活性化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「人と人」「まちとまち」つながりある活気あふれるまち ○地域のみんなで楽しくわいわい地元を盛り上げるまち ○世代や区を超えて活気のあるあふれる明るいまち ○市民でつくるイベントをするまち
<p>《観光》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光地・レジャー施設と交通網を発達させて、県外・国外の人達が楽しめるまち ○観光客が多く訪れ、にぎやかで、みんなから愛されるまち 	<p>《公共交通》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通手段が充実したまち ○市内のどこにでも行き来できるまち
<p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新潟市の魅力をグローバルな視点で情報発信するまち ○みんなで情報を共有して活動できるまち ○情報のやりとりを活発化させ、若者の活気があふれるまち 	<p>《グローバル》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○老若男女、外国の方も皆が楽しめるまち ○公共交通機関を整え、海外・県外の人々が来なくなるまち ○高齢者も若者も協力、密着できるグローバルなまち

【午後の部】私の思いを実現するためには、どのような取り組みをすべきだと思いますか。

※注釈：学生から寄せられた意見（記述）を抜粋し、幾つかの「カテゴリー」にグループ化したもの。

<p>《魅力づくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新潟出身の漫画家のイベントを開催 ○ゆるキャラが案内してくれるカメラアプリで地域の良さを再発見 ○四季折々のイベントを開催 ○各区の特産物をコラボ 	<p>《農業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新潟市の農産物加工品を積極的にPRし、海外へ輸出 ○農業体験や日本の自然体験を実施 ○花を日常の生活に取り入れる
<p>《住みやすさ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○田園地域を生活しやすい空間として有効活用 ○地域の人が交流できる場所をつくる ○誰もが安心して暮らせるようなまちづくり ○人のつながりを強化し、地域福祉の充実 	<p>《交流》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者と高齢者の交流により地域の壁を無くす ○地域住民・学生同士が交流できる場をつくる ○学生間の交流・活動への支援 ○行政・企業・市民が連携し、イベント企画
<p>《就職・雇用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域密着型の企業を増やし、地域全体の交流を盛んにする ○“起業版ハローワーク”など、同じ志や想いをもった人と出会える場をつくる ○就きたい仕事に就けるような環境づくり ○企業とのインターンシップを積極的に行う 	<p>《まちなか活性化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域に交流センターを設け、住民だけでなく、学生やボランティア団体等とともに活動 ○様々な団体の情報拠点を作り、住民参加型イベントで地域を活性化 ○イベントの準備段階から、多くの人が携わる市民でつくるイベントを開催
<p>《観光》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光施設を作るより、「観光地域」になるようなまちづくり（古町全体の活性化・観光化） ○特産品を使った料理などが食べられるカフェの開設により、新潟の良さをアピール ○アンテナショップ等を活用し魅力を発信 	<p>《公共交通》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お年寄りが移動しやすいように、相乗りタクシー（シルバー割）を実施 ○公共交通機関の整備
<p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○フリーペーパーを使ったまちなかでの情報発信・情報共有 ○新潟市の産業・観光行政面での特徴を、県外へ移り住んだ人からも発信 ○食と花など、新潟市の魅力をグローバルな視点で情報発信 	<p>《ファシリティーマネジメント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今ある施設の有効利用（野球・サッカー・りゅーとぴあ・エコスタジアムなど）

参 考

◎資料 1

プログラム

◎資料 2

新潟市の現状（配布資料）

◎資料 3

ワークショップ風景

平成 26 年 3 月

新潟市地域・魅力創造部 政策調整課

8 大学連携まちづくりワークショップ・プログラム

新潟市地域・魅力創造部 政策調整課

日 時：平成26年1月11日（土）
 ◎午前の部 10:00～12:00（120分）
 ◎午後の部 13:00～15:00（120分）

会 場：新潟市役所 本館講堂
 （新潟市中央区学校町通 1-602-1 本庁舎 6階）

あなた（わたし）にとっての、新潟市って何だろう！？
 未来のまちづくりに向けて
 あなたの熱い想いを語ってください！

【午前の部】

時間		内容
10:00	—	◎開会
10:00～10:20	20分	◎オリエンテーション 開催趣旨、「午前の部」の説明。
10:20～11:25	25分 ↓ 席替 ↓ 25分 ↓ 席替 ↓ 15分	◎ワークショップ ・第1ラウンド（自席） 今座っている席のメンバーで、提示された「問い」について対話。 ・第2ラウンド（席移動） 一人（ホスト）を残して、他の人（ゲスト）は別のテーブルへ移動し、新メンバーで対話。 ・第3ラウンド（席戻り） 自席（最初の席）に戻り、他のテーブルでの対話内容をお互いに報告。
11:25～11:55	30分	◎全体セッション 対話を通して浮かびあがってきた将来像（ビジョン）をフレーズや文章で表現。
11:55～12:00	5分	◎記念撮影
12:00	—	◎閉会

【午後の部】

時間		内容
13:00	—	◎開会
13:00~13:15	15分	◎オリエンテーション ・「午後の部」の説明 ・新潟市の現状を知ろう！
13:15~14:35 	20分	◎ワークショップ ・グループ対話（一人目のビジョン） 一人目のビジョンを実現するための取り組みを、自席のグループ4名で意見交換。
	↓	
	20分	・グループ対話（二人目のビジョン） 二人目のビジョンを実現するための取り組みを、自席のグループ4名で意見交換。
	↓	
	20分	・グループ対話（三人目のビジョン） 三人目のビジョンを実現するための取り組みを、自席のグループ4名で意見交換。
	↓	
	20分	・グループ対話（四人目のビジョン） 四人目のビジョンを実現するための取り組みを、自席のグループ4名で意見交換。
14:35~14:50	15分	◎個人まとめ グループ対話を通して、浮かびあがってきた取り組みを、フレーズや文章で表現。
14:50~14:55	5分	◎記念撮影
15:00	5分	◎N-Vision・カフェの開催告知 ◎閉会



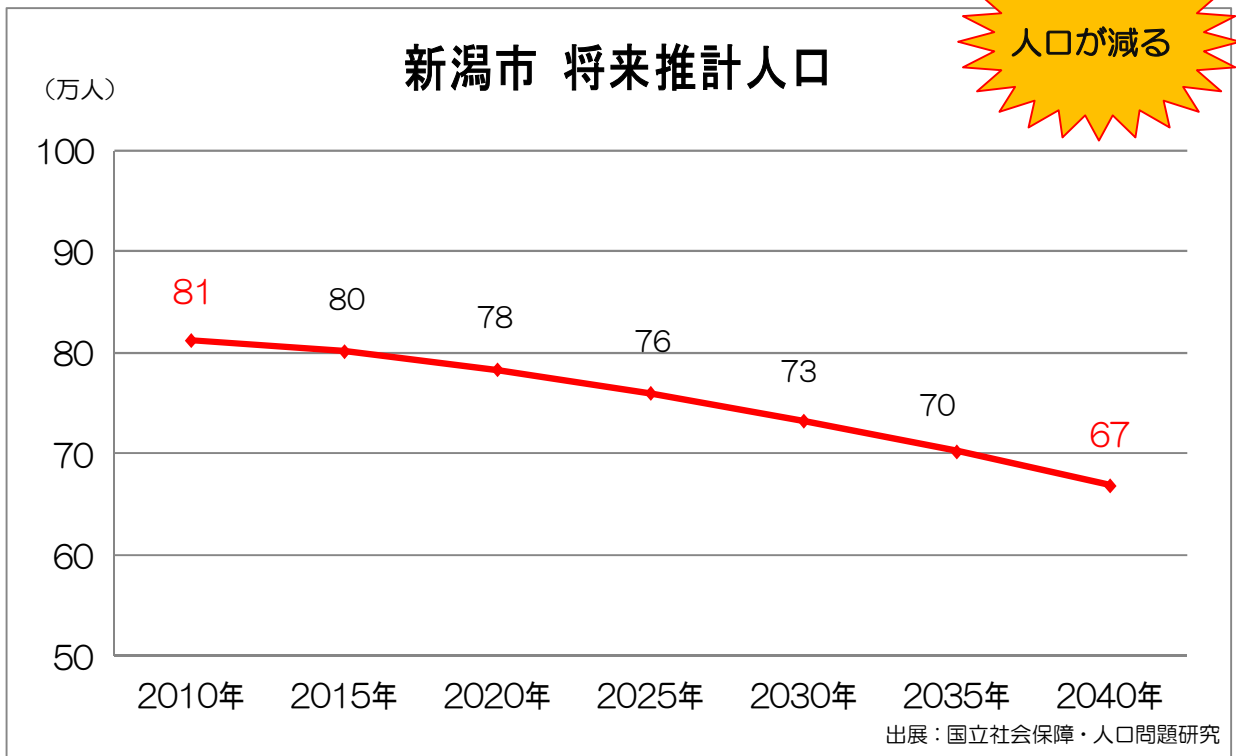
《ワークショップのエチケット》

- テーマに集中しましょう！
- あなたの考えや感じていることを積極的に話しましょう！
- 話は短く簡潔に！
- 相手の話にも耳を傾けましょう！
- まわりの人との会話を楽しみましょう！

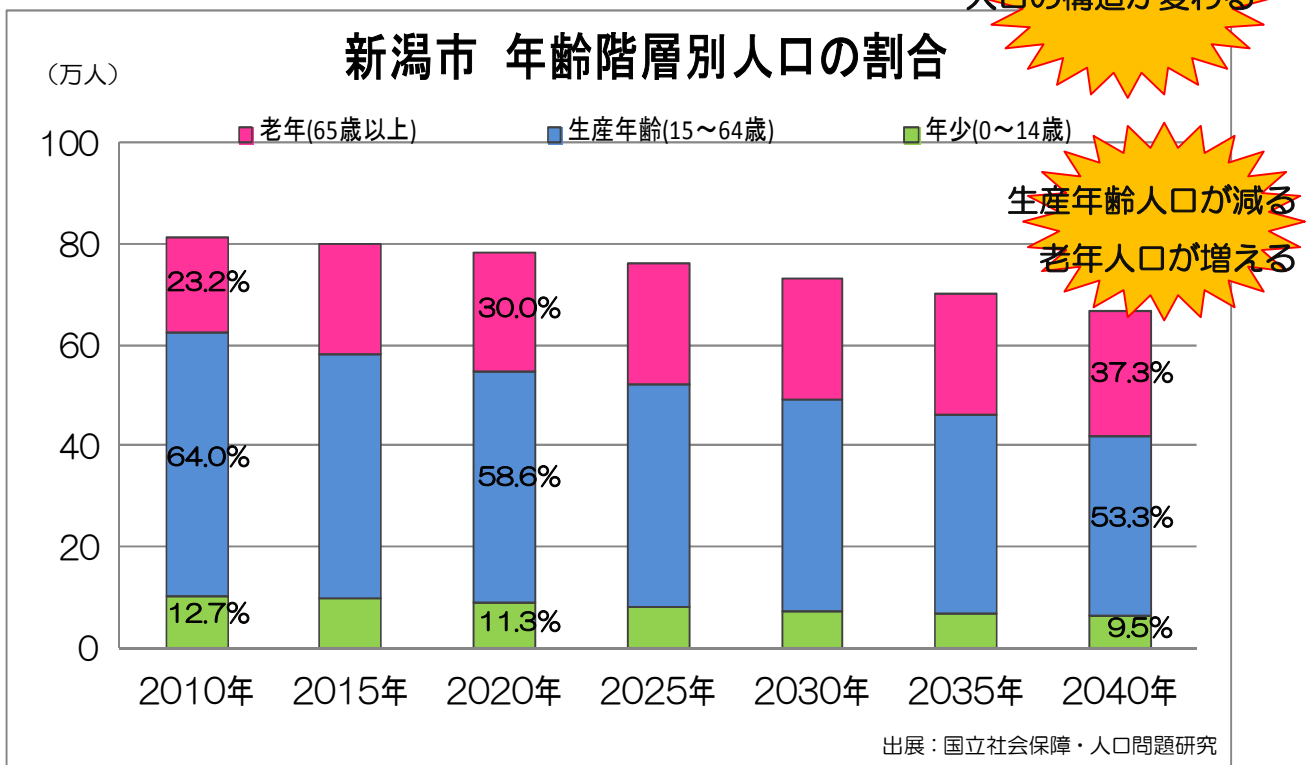


■ 今後踏まえるべき潮流

□ 人口減少社会の到来



□ 超高齢社会の到来



ワークショップ風景

【午前の部】



【午後の部】

